

そよかぜ通信

第279号

発行

2023年9月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団
調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信
〒182-0032 調布市西町290-4
TEL 042-481-7663
FAX 042-481-7074
URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧ください。



調布市パラアート展 活動の一コマ写真館 ～ Para ART 2023 に行ってきました編 ～

今回のパラアート応援企画、共生社会の大切さをアートの力で発信する取り組み「ビッグハートプロジェクト」にも参加してきました。たくさんのカラフルハートを作り、集まったたくさんのハートをつなぎ合わせて5m×10mの大型アート作品を作成しました。後日その大型アートを間近に見ることができ圧巻でした！

そよかぜの作品も展示されていました。
自分たちの作った作品がこうして展示されているのを見るのはうれしいですね🎨

ビッグハートプロジェクトに参加する皆さんの姿は真剣そのもの！

他にも様々な団体の方々が参加されていて、みんなで力を合わせて作る様子は感動的でした！



～活動の一コマ、すいか割り～



ビーチボールのすいかを、存分に叩いて、最後は甘いすいかを食べました。

そよかぜとはこんなところ

そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。

職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「花おはぎ」

板垣 有紗



皆さん、花おはぎをご存じですか？

実は、先日私の祖母が米寿を迎えまして、親族でお祝いをしました。大切な祖母の大事な日に少しでも喜んでもらえたらと風船やプレゼントを親族と相談する中で、「ケーキはどうしよう!？」と親族で悩みました。実は、祖母は乳製品アレルギーのため、通常のケーキでお祝いするわけにはいかなかったからです。

どうしたらいいかと考えて色々探していたところ、「花おはぎ」を見つけました。おはぎなので、もちろん乳製品は使用しておらず、合成着色料や保存料・添加物は不使用で、お米は全て国産米というところに魅力、すぐに注文することにしました。また、その季節に合わせたお花をイメージして作られているというところで、米寿を迎える祖母にぴったりだと思い当日を楽しみにしていました。

そして待ちに待った当日、箱のふたを開けると、まさにケーキにも引けを取らない華やかなおはぎに祖母もとても喜んでくれました。あんこが大好きな私の子どもたち(祖母にとってはひ孫)も大喜びで目をキラキラ輝かせて飛び跳ねて喜んでいました。笑

皆さまも、もしなにかの記念日の際には、花おはぎ、いかがでしょうか？



実習生がきています

アルファ医療福祉専門学校と上智大学からそれぞれ社会福祉士実習に来てくれました!



コロナ禍による受け入れ制限も緩和され、毎月のように実習生が来てくれています。以前のように触れ合いが増えて、自然と笑顔が!

夏の出会い

夏のウォーキングは日陰を求めて林間コースを歩くことが多いです。あるとき思わぬ出会いがありましたのでご紹介です。



ヤマトタマムシ



ゴマダラ
カミキリ



オオシオカラ
トンボ

朽木

